



主な掲載内容

< 2・3面 > 9月1日は「防災の日」です。<今すぐやろう！防災訓練！！家具類への地震対策を忘れずに！！> / 来て！見て！体験！防災館／防災イベント情報

< 4面 > 消防の仕事ご紹介【東京消防庁救急相談センター 救急相談看護師】／Miniコラム／プレゼントコーナー

病院へ行く？ 救急車を呼ぶ？ 迷ったら…



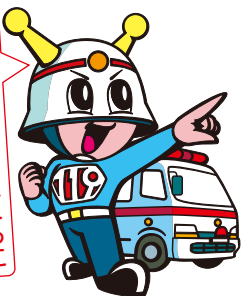
電話とインターネットでご利用できます!

電話では、急な病気やケガをして病院に行くか、救急車を呼ぶか迷った際の電話での相談窓口として、「東京消防庁救急相談センター（#7119）」を24時間年中無休で開設し、救急相談医療チーム（医師、看護師、救急隊経験者等の職員）が対応しています。

主な救急相談の内容として、症状に基づく緊急性の有無のアドバイスや受診の必要性に関するアドバイスのほか医療機関案内を行っています。

インターネットでは、パソコンや携帯電話などで病気やケガの緊急度や受診する科目を確認できる「東京版救急受診ガイド」があります。迷った際には、ご利用ください。

切り取り自立して貼る等に活用ください。



病院？ 救急車？ 迷ったら…

#7119

電話で相談

東京消防庁救急相談センター

ネットでガイド

東京版救急受診ガイド

こちらからつながります

23区 03-3212-2323

多摩地区 042-521-2323

激しい頭痛や呼吸困難などの症状がみられたら、ためらわず119番を!

9月1日は「防災の日」です。



大正12年9月1日関東大震災が発生し、関東地方を中心に甚大な被害をもたらしました。また台風の多い時季であることから、広く地震や台風などの災害に対する防災意識を高めてもらうため、9月1日を「防災の日」とし、この日を中心に「防災週間」を定めました。

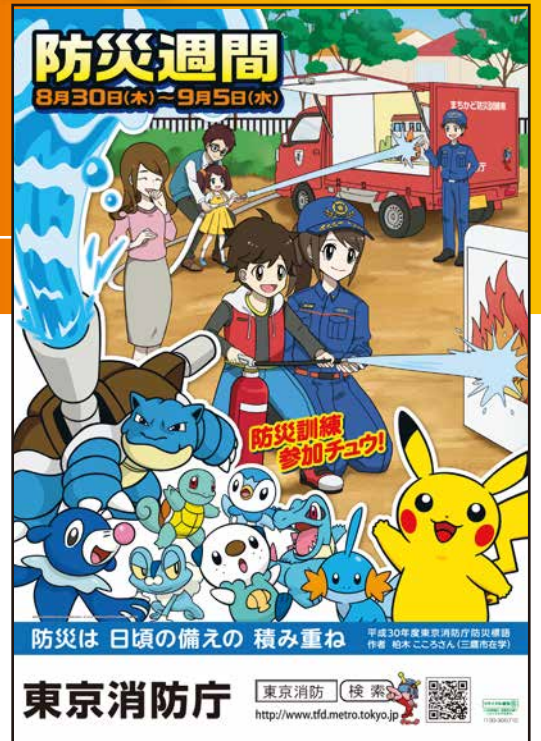
防災週間 8月30日(木)～9月5日(水)まで

今すぐやろう! 防災訓練!!



「防災週間」に合わせ各地で防災訓練や防災関連行事が行われます。

防災訓練に参加することで、首都直下地震などの災害から、ご自身やご家族・ご友人を守る「防災行動力」が身につきます。この機会にぜひ地域の防災訓練に参加し、ご家庭や職場での災害への備えや対応について考えてみましょう。



平成30年度防災週間ポスター

VR防災体験車

いざという時、あなたはどうなる、どうする?

360°のVR映像と揺れ・風圧・熱などのリアルな演出により、地震、火災、風水害の災害を疑似体験できます。



VR映像



地震編

火災編

風水害編

VR防災体験車

VR体験の様子

※VR防災体験車の予定は、東京消防庁ホームページをご覧ください。(http://www.tfd.metro.tokyo.jp)

起震車

忠実に再現された地震体験!

東日本大震災や熊本地震など、近年発生した大規模地震を体験できます。車イスの方も体験可能です。



まちかど防災訓練車

まちかど防災訓練をあなたの街にお届け!

「まちかど防災訓練」をあなたのまちにお届けできる車両です。軽トラックベースの小型車で、住宅街や小さい公園でも訓練でき、車両に積載した最大200Lの水を循環させて、スタンドパイプや消火器による各消火訓練が可能です。



家具類への地震対策を忘れずに!!



6月18日に発生した大阪府北部を震源とする地震では、家具類の転倒・落下によって、死傷者が発生しました。

地震への備えを再確認し、身の回りの家具類に転倒・落下・移動防止対策を実施しましょう。安全な家具の置き方・転倒防止器具の取付け方など東京消防庁ホームページに掲載していますのでご利用ください。

家具転倒対策のホームページはこちらから



来て!見て!体験!防災館 **入館無料**

防災館は、「もしも」に役立つ防災行動力を高めることができる施設です。インストラクターの説明のもと、地震の揺れや煙、初期消火、応急手当などをツアー形式で体験。各館独自の体験コーナーや防災シアター、見学コーナーなどもあります。いざという時あわてず冷静に行動できるよう、この機会にぜひ防災館にお越しください。



池袋防災館

場 所 ▶ 東京都豊島区西池袋2-37-8
開館時間 ▶ 午前9時～午後5時(金曜日は午後9時まで開館)
休 館 日 ▶ 火曜日・第3水曜日(祝日の場合は翌日)

TEL.03-3590-6565
<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-ikbskan/>

都心で学ぶ防災の体験学習ゾーン

【主な体験コーナー】

- ・地震コーナー
- ・煙コーナー
- ・消火コーナー
- ・救急コーナー
- ・救出救助コーナー
- ・図上訓練コーナー
- ・通報コーナー



NEW

池袋夜の防災館「ナイトツアー」

毎週金曜日は「夜の防災館」として、午後9時まで開館し夜間の発災を想定した「ナイトツアー」を実施しています。夜間を想定した地震・消火・煙の中での避難などを体験いただけます。

★ 就寝中を想定した地震体験



🌙 夜間を想定した消火体験



◆体験時間◆
(所要時間1時間40分)

- ①午後5時～午後6時40分
- ②午後7時～午後8時40分
- ※定員は各コース30名

本所防災館

場 所 ▶ 東京都墨田区横川4-6-6
開館時間 ▶ 午前9時～午後5時
休 館 日 ▶ 水曜日・第3木曜日(祝日の場合は翌日)

TEL.03-3621-0119
<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-hjbskan/>

見て、触れて、下町のくらしを守る体験学習

【主な体験コーナー】

- ・暴風雨体験コーナー
- ・都市型水害コーナー
- ・川の手地域コーナー
- ・地震コーナー
- ・防災シアター 他



暴風雨体験コーナー

台風などの暴風雨を実際に体験できます。また、雨量、風速が大型モニターにリアルタイムに表示され、映像で分かりやすく解説しています。



立川防災館

場 所 ▶ 東京都立川市泉町1156-1
開館時間 ▶ 午前9時～午後5時
休 館 日 ▶ 木曜日・第3金曜日(祝日の場合は直後の平日)

TEL.042-521-1119
<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-ttbskan/>

親子で楽しみながら体験を通して防災を学ぶ

【主な体験コーナー】

- ・子ども防災体験広場
- ・日常生活事故防止コーナー
- ・救出救助コーナー
- ・地震コーナー
- ・防災ミニシアター 他



日常生活事故防止コーナー

タブレット端末を使用して、日常生活に潜む事故の危険性と防止策が学習できます。



救出救助コーナー

リアルな造形により倒壊家屋を再現し、救出救助の方法が体験できます。



防災館のご利用にあたって

当日受付での申込みも可能ですが、予約状況によってはご希望に添えない場合があります。各館に事前にお問合せ・ご予約していただくと、ご希望の日時でスムーズに体験できます。

防災イベント情報

ワクワク!!ぼうさい体験教室

防災グッズ作りや防災講演、防災体験のコーナー等を実施します。(防災グッズ作り及び防災講演は、各館とも事前予約制です。当日、空席がある場合は、先着順で参加可能です。)

- 立川防災館
日時:8月25日(土) 13時30分～16時30分
- 本所防災館
日時:8月26日(日) 13時30分～16時30分

ワクワク!!ぼうさい体験教室(防災グッズ作り予約等)や防災週間の行事については、東京消防庁ホームページをご覧ください。
<http://www.tfd.metro.tokyo.jp>



昨年の実施状況

防災週間等特別企画展

- 池袋防災館
8月30日(木)～9月9日(日)
- 本所防災館
8月30日(木)～9月11日(火)
- 立川防災館
8月31日(金)～9月9日(日)

病院へ行く? 救急車を呼ぶ??

迷ったら...

ネットでも! 電話でも!

#

7

1

1

9

電話で相談 東京消防庁救急相談センター





東京消防庁救急相談センター 救急相談看護師

救急相談看護師長 インタビュー

ポクが聞きました!



救急相談看護師の仕事 (東京消防庁救急相談センター)

東京消防庁救急相談センター(#7119)では、都民が急な病気やけがで「病院へ行くべきか」「救急車を呼ぶべきか」など迷った際の相談に対応しています。救急相談は、98種類のプロトコルを用いて、常駐する相談医と連携し、医学的な質を保ちながら、相談に対応しており、次のアドバイスなどを行っています。

- ①症状に基づく緊急性の有無
- ②受診の必要性
- ③医療機関案内

Q. どの様な救急相談が多いですか?

A. お子様の発熱です。お子様の急な発熱は、相談者が慌ててしまうケースが多く、相談者を落ち着かせながらお話を聞いています。

Q. 電話がつながると、どの様な質問をするのですか?

A. 誰がどんな具合での相談なのか、その症状はいつから続いているのかなどを聞いています。医師とも相談の上、緊急性を判断しています。

Q. その結果、どんなアドバイスをしてもらえるのですか?

A. 緊急性が高い場合は、救急車の要請を行います。その他の場合には、病院を受診するべきタイミングや受診科目などをアドバイスしています。



病院へ行く? 救急車を呼ぶ? 迷ったら...
電話でも! ネットでも!

#7119

こちらからもつながります
23区 03-3212-2323
多摩地区 042-521-2323

MINIコラム

消防団は普段何してるの?

【普段の消防団 活動風景】



防災教育



地域のお祭りなどの警戒活動



消火器の使い方や応急救護などの指導

消防団は、本来の仕事や学業・家事をしながら、「自分たちのまちは自分たちで守る」という使命感のもと、さまざまな活動を行っています。消防団の活動は災害時だけではなく、普段から地域の防災力を高めるための活動に取り組んでおり、現在では多くの女性や学生も活躍しています。

あなたも首都東京を守る消防団員になってみませんか。

消防団員募集

- 入団条件** 18歳以上の健康な方であれば入団資格があります。
- 問合せ先** 23区の方は最寄りの消防署・消防団本部まで、市町村の方は各市町村まで。

詳しくは、東京消防庁HP「首都東京を守る消防団」をご覧ください。



お楽しみプレゼントコーナー

ご応募いただいた方の中から抽選で119名様に「東京消防庁オリジナルカラビナ付きポーチ」をプレゼント!!



携帯に便利なカラビナ付きポーチ!
商品サイズ:10×17.5×2cm
どの色が届くかはお楽しみ!

さらに「#7119 マグネット」もプレゼント!

<応募方法> ハガキに①住所②氏名③年齢④性別⑤職業⑥広報とうきょう消防をご覧になった感想をご記入のうえ、下記の宛先までご応募ください。

〒100-8119 (住所不要)
東京消防庁広報課
「広報とうきょう消防」編集担当

<締切> 平成30年9月3日(月) 必着 (応募はお1人様につき1枚といたします。)

<当選発表> プレゼントの発送をもって発表といたします。

※応募の際にご記入いただきました個人情報につきましては、抽選及びアンケート集計事務にのみ使用いたします。

おたくさんのご応募お待ちしています!

